

つうしん SPS通信



だいごう れいわ ねん がつはつか はっこう
第1号 令和3年7月20日 発行

おおさかふりつちゅうおうちょうかくしえんがっこう
大阪府立中央聴覚支援学校

ほんこう へいせい ねんど かつどう つづ
本校では、平成30(2018)年度から、SPS(セーフティプロモーションスクール)の活動を続けています。

このSPS通信を通じて、本校の安全に関する取り組みを少しでも多くの方々に知っていただき、学校だけでなく家庭・

ちいき れんけい と とくく すす かんが
地域とも連携を取りながら取り組みを進めたいと考えています。

Safety	安全
Promotion	進める
School	学校

〇はじめに

～SPS(セーフティプロモーションスクール)とは～

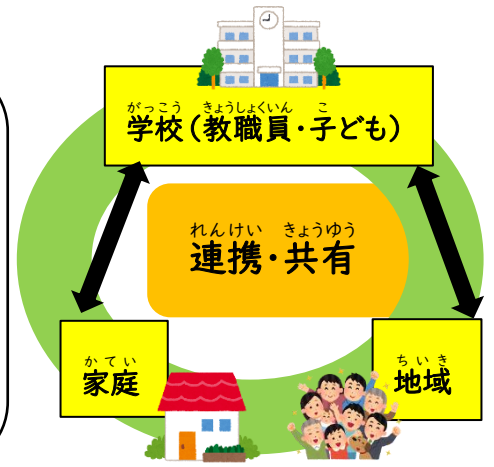
へいせい ねん がつようか お おおさかきょういくだいがくふぞくいけだしょうがっこうじけん きょうくん もと ぜんこくてき ひろ がっこう
平成13(2001)年6月8日に起きた大阪教育大学附属池田小学校事件の教訓を基に、全国的に広がった学校

あんぜん かん とくく がっこうあんぜん ないよう せいかつあんぜん さいがいあんぜん こうつうあんぜん
安全に関する取り組みです。学校安全の内容としては、「生活安全」「災害安全」「交通安全」の3つに分けることが

でき、3つの安全について学校・家庭・地域が協働しながら取り組みを進めていきます。また、SPS認証校には取り組

みの実践と成果を広く発信し共有していくことも求められています。

せいかつあんぜん 生活安全	がいしょうよぼう はんざいよぼう 外傷予防・犯罪予防など	
さいがいあんぜん 災害安全	しぜんさいがいたいさく かさいよぼう 自然災害対策・火災予防など	
こうつうあんぜん 交通安全	ひがいよぼう かがいよぼう 被害予防・加害予防など	



～SPS認証式について～

がつ にち げつ にんしょうしき ほんこう おこな 5月31日(月)に、SPS認証式を本校で行いました。SPS認証校であり続けていくためには3年ごとに再認証を受

ける必要があります。平成30(2018)年に初認証を受けてからの3年間は「生活安全」に重点を置いて取り組みを

すす さいにんしょう あ ねんかん さいがいあんぜん ちゅうしん とくく すす
進めてきました。再認証に当たるこの3年間は「災害安全」を中心に取り組みを進めていきます。



〇I学期の取り組み

～火災避難訓練～



5月11日(火)全校で火災を想定した避難訓練を行いました。今回の訓練は子どもたちには事前に時間や出火場所などを伝えず、実際に火災が起きた時に落ち着いて行動できることを目標に行いました。自衛消防訓練サポートセンターの方にお越しいただき、避難の様子についてアドバイスをいただいたり、火災の際に気をつけることなどを教えていただいたりしました。今回の訓練を通して、子どもたちは避難方法や避難経路について学ぶことができました。

～救急救命講習会～



本校では、水泳学習が始まるまでに全教職員が心肺蘇生の方法について学ぶ機会を設けています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で消防署から講師を派遣していただくことができなかつたため、本校で救急救命の資格を持つ教員中心に講習会を行いました。今回は胸骨圧迫の方法、AEDの使い方だけでなく、コロナ禍であることから救急救命にあたる際の感染症予防の観点も新たに学ぶことができました。

OSPS サポーターについて

今年度より新たな取り組みの1つとして「SPS サポーター制度」を活用していきます。これは大阪教育大学学校安全推進センター主催の取り組みで、学校安全の取り組みを教職員だけが行うのではなく、子どもたち自身にも自らの安全について主体的に考えてほしいというねらいがあります。安全について学校・学部のリーダーとして積極的に取り組んでくれる子どもたちが SPS サポーターとして認証され委嘱状が渡されます。サポーターとしての期間は1年間です。この制度を通じて、子どもたちが自ら考え自らの安全を守る方法を身につけてほしいと思います。

☆裏面に1学期中の子どもたちの活動の様子を載せていますのでご覧ください。

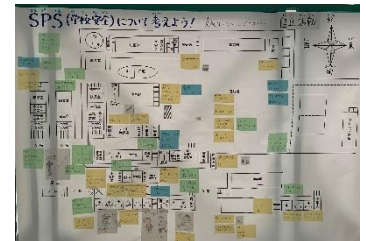
○各部の取り組み

【幼稚部】

幼稚部では、身近な安全について年長組の子どもたちと一緒に考えました。「“きけん”なことってどんなこと？」ときいてみると、「廊下を走ったらあぶない!」「順番を守らないで、お友達を押し!」などの意見が出ました。そこで、「安全に過ごすにはどうすればいいのかな?」と尋ねると、「廊下を走らない!」「順番を守る!」と自分たちで考えていました。安全に過ごすために、日々の生活の中でルールを守ることが大切だと気付くことができました。

【小学部】

小学部では、自立活動の時間を活用して校内安全点検を行いました。子どもたちの視点でどこが危険かを探しマップとしてわかりやすくまとめることができました。また、委員会活動では、生活委員会を中心に校内に貼っている安全啓発のポスターの見直しを行い、よりみんなに伝わりやすいポスター作りに励んでいます。

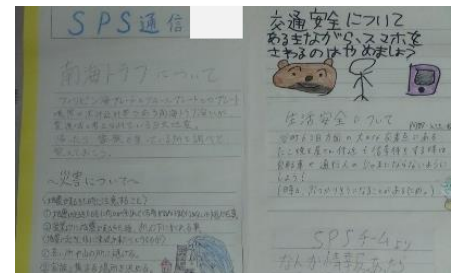


【中学部】

中学部では、放課後生徒会のメンバーで集まり学校安全について話し合うことができました。また、総合の授業では、SDG'sに取り組んでいます。各グループで17個ある目標から1つを選んで発表の準備をしており、「13. 気候変動に具体的な対策を」を担当するグループでは自然災害に対する備えの一つとして学校の備蓄食料の紹介用の写真をと撮るなどの活動をしています。備蓄食料の保管場所の確認や防災意識の啓発を兼ねて発表の準備をすすめています。

【高等部】

高等部では、生活委員会の活動で「高等部SPS通信」を作成し、掲示しました。内容は「スマホマナーの啓蒙」「熱中症予防」「交通マナー」「地震時の対応」「水難事故について」など様々です。また、生徒集会にて、その内容を発表する啓蒙活動を行いました。さらに、生活応用コースD3では、災害時のシミュレーションをゲーム形式で行い、楽しく学ぶことができました。



【寄宿舎】

寄宿舎では「自分の命を自分で守る」を目標に取り組みを行っています。昨年度に引き続き、災害時に慌てず適切な行動がとれるように避難訓練の在り方を見直してきました。まずは正しい知識を得るために学習会を実施し、災害時の逃げ方や、初期行動を学びました。スライド内の具体的な写真やイラスト、職員のリールプレイが効果的で、舎生も前に出てやってみるなど積極的に参加する姿がありました。また訓練後に学んだことをスマホで検索する、資料に興味を示し見ようとする姿などが見られ、良い学びにつながりました。